

放課後等デイサービスまなざし 自己評価票

	チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境体制整備	① 利用定員かが指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	設置基準等につきましては、関係法律に基づいて、適切に運営している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○	配置基準につきましても、関係法律に基づいて、適切に人員配置を行っている。また、加配の職員も配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	建物の構造上、バリアフリーには対応できていない。事前に見学の上ご利用をされている。現在までに対象となる児童はいない。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	業務改善につきましては、毎日の支援会議を通して状況に合った支援計画であるか職員が改善提案しやすいように心がけている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○	保護者の意向については、保護者へのアンケート結果を全職員で話し合い業務改善に繋げている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	自己評価票の結果につきましては、インターネット上の事業所ホームページで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	学校、関連事業所、基幹相談支援センターの事業所訪問により外部からの意見いただくことで、より良い運営を行うように取り組んでいる。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	現在、定期的に事業所内研修を行っている。また、毎週 SST 指導学習をしている。実践後は結果を振り返り意見交換している。外部研修はコロナの影響で研修が中止になり参加が難しい状況である。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービスの計画を作成しているか	○	個別支援計画の作成については、常に支援会議を開催し、職員との意見交換を行い、適切なアセスメント、保護者のニーズに基づいた計画の作成を行っている。アセスメントを取る時期、形式を改善した。
	⑩ 子どもたちの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○	事業所で作成した、アセスメントシートに基づく評価を行っている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	毎月15日までに翌月の活動プログラムの設定会議を開き、職員全員で意見交換しながら活動プログラムを企画立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	活動については、定期的に行いたい活動や、児童の発達度合いまた季節にあわせた活動など児童が様々な経験ができるように心がけている。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	職員全員により学校休校日や長期休暇時など滞在時間に対応できる活動内容を話し合い課題を決め支援している。また個別の目標設定に応じた支援も行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	各児童の特性を見極め目標を設定して個別支援計画の作成を行っている。個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行いながら評価を行い次の個別支援計画に繋げている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	前日までに活動準備を行い、午前中の支援会議の中で、当日の支援内容や役割分担の再確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	支援の振り返りは毎日必ず行い、意見交換をし、今後の課題を含めより良い支援に繋がれるよう記録作成している。送迎時の保護者や学校からの情報は申し送り表を作成して情報の共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日行う支援会議の記録、各児童のケース記録や活動日誌を書いており業務改善に繋げている。また到達目標に関わることは、青字で記録を残すことで状況、変容を掴みやすいように改善した。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに必要性を判断しているか	○	個別支援計画のモニタリングは全職員で会議を行い達成度や今後の支援内容の意見交換を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	児童のニーズに応じた適切な支援提供を考え様々な活動を行っている。児童が興味を持って楽しく過ごせるように心がけている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童の特性、状況を把握している職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	学校の教頭先生、担任の先生方と学校やまなざしでの様子を情報、意見交換して支援計画作成に役立っている。学校のお迎え時にもできるだけ情報伝達を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	現在、医療的なケアが必要な児童はいないが、必要に応じて保護者や学校と連携して主治医と連絡体制は可能である。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	×	本年度はコロナ禍にあり保育所や幼稚園、認定こども園への訪問は控えたため情報共有はできなかった。
	㉔	中学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	△	まだ、中学校を卒業する児童を支援した実績がないが、障がい福祉サービス事業所等へ移行する時はそれまでの支援内容などの情報は提供したい。他の事業所を利用している児童については行っている。

	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	こちらから児童発達支援センターを訪問したり、当事業所へ見学に来て頂いて感想や助言を受けている。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	放課後児童クラブや児童館との交流はない。学童との交流はできないが、公園で一緒に遊ぶことを通して機会を得ている。
	㉒	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	×	コロナ禍のため協議会等への参加はしていない。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	児童の状況については、個別支援計画の説明の際や、連絡帳また送迎時に、家庭での様子と事業所での様子を伝え合い、課題や今後の支援方針の共通理解を心がけている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	△	面談時や相談を受けた時は必要に応じて保護者への助言を行っている
保護者への説明責任	㉕	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	△	契約時には、できる限り詳しく説明を行っている。誤解がないように、契約書や重要事項説明書などは読み合わせを行った上捺印してもらっている。しかし、給付費の駒かな項目については分かりにくいとの意見があった。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	相談体制については契約時に伝えている。その後面談や電話、送迎時、時間外も含めて対応を行っている。日頃から相談しやすい環境づくりを心がけていきたい。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	保護者会の開催はしなかった。今後、勉強会、親子での活動などを開催するよう考えていきたい。
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情の対応体制については契約時に詳しく説明をしている。苦情があった場合は迅速丁寧に対応している。また職員全員に周知させ記録に残している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△	翌月の活動表を配布することで行事予定や活動内容をお知らせしている。保護者にホームページについて周知していく。
	㉚	個人情報に十分注意しているか	○	個人情報につきましては、法律に基づいて適切に運用を行っている。職員は秘密情報の保持に関する誓約書に同意捺印している。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚支援や個別指導によりその子どもの特性に合わせた工夫をしている。保護者には連絡帳や電話、送迎時に分かりやすい説明を心がけている。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を行っているか	×	まだ地域住民を招待したことはない。コロナが落ち着いたらコミュニティセンターに行き地域の方々と交流を持つ機会があればと思う。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルを作成している。職員は周知しているが保護者には説明不足であるとの意見があった。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	避難場所、避難経路の確認、災害時の対応などは、職員間でマニュアルを通して把握している。年2回児童と共に避難学習および避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	○	虐待防止研修に参加して事業所内でも研修のフィードバックを行っている。また、子どもの変化にも十分気を配り保護者にも伝えている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束については、契約書に記載している内容を保護者に十分説明を行い署名捺印をしてもらっている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	現在対象になる児童はいないが、契約時に保護者に尋ねアセスメントに記入し全職員に周知するようにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット事例を作成集約しており、全職員に周知させ再発防止の意見交換をしている。必要な時は研修等に利用している。

令和3年3月作成